

# 新型コロナウイルス感染症流行下における、インフルエンザウイルス感染症 AI 診断の精度検証

## 1. 研究の対象

2022年12月から2023年2月までの間に、当院でインフルエンザと新型コロナウイルスのPCR検査を受けられた方。

## 2. 研究目的・方法

インフルエンザの診断はこれまで、鼻に綿棒を突っ込むことで行われてきました。一方、近年の研究で、インフルエンザになったときの「のど」には熟練の医師なら判別可能な「特徴的なボツボツ」が出ていることが分かり、のどの写真や症状をもとにして、鼻に綿棒を突っ込むことなくインフルエンザの診断ができる人工知能(AI)が開発されました。ところが(皆様ご存知の通り)そのころから「新型コロナウイルス感染症」が出現してしまい、今も世界中で流行しています。のどの写真や症状をもとにインフルエンザを診断する人工知能は新型コロナウイルスが流行する前に作られたので、「新型コロナウイルス以外の感染症とインフルエンザを区別できる」ことは確かですが「新型コロナウイルスのことを正しくインフルエンザと区別できるか」が分かりません。今回の研究で、のどの写真を撮影させていただくことにより、AIが新型コロナウイルス感染症とインフルエンザを区別できるのか調べるのが今回の目的です。研究実施期間は研究機関の長の許可日から2024年3月31日までを予定しています。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

病歴、のどの写真、PCR検査の結果など。なお、収集したデータは、匿名化した上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針(「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」)に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

## 4. 外部への試料・情報の提供

研究協力機関へのデータの提供は、個人情報とは関係のない番号(識別コード)を割り付け、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。提供した情報と個人が特定できるように対応表を作成しますが、対応表は院内で当院の研究責任者が保管・管理します。

## 5. 研究組織

本研究は以下の研究機関で実施します。

《研究代表者》

山梨県立中央病院 総合診療科・感染症科 部長 三河貴裕

《研究協力機関》

山梨大学医学部附属病院 感染制御部 教授 井上修

アイリス株式会社 臨床開発チーム 小児科医 塙孝哉

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利

益が生じることはありません。申し出をいただいた時点で、既に学会や論文として発表されている場合やAIの教育に用いられていた場合などは取り消しができないこともあります。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先・研究代表者：

山梨県立中央病院 総合診療科・感染症科 部長 三河貴裕

〒400-8506 山梨県甲府市富士見一丁目1番1号 TEL：055-253-7111（代表）